

うえだ News 環境市民会議

平成16年7月15日
第9号

発行：
うえだ環境市民会議
〒386-8601
上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課内
電話：0268-23-5120
FAX：0268-25-4100
seikatukankyo@city.ueda.nagano.jp

うえだ環境市民会議は、市民・事業者・市のパートナーシップにより、7つのワーキングチームにわかれ、環境をよくする活動に取り組んでいます。それぞれのワーキングチームの活動を紹介します。

自然豊かな山と川を育むまち

■ 6月8日 上田市の指定保存樹木樹林の見学会実施

○ 講師の篠原修さんを中心に、9箇所を見学しました。

① 芳泉寺：マツ、ケヤキ

・説明版の文字を書き直す必要がある。石垣の貴重なツメレンゲは、クロツバメシジミという蝶の食草とのこと。

② 芳泉寺隣の広場：クヌギ

・民家に隣接しており、太い枝や幹が切られていた。

③ 塩尻小学校：ナンジャモンジャの木

・虚空蔵山の指定木と同じもの。北限としての価値あり。

④ 塩尻中島の天満宮：ケヤキ、クヌギ

・ケヤキは健在だが登録が抹消されている。

⑤ 常磐城の虚空蔵山：ケヤキ

・ムササビなど自然の生物が多く見られる場所とのこと。

⑥ 大星神社の社叢：ケヤキ

・神殿脇のフタガタカエデが立ち枯れているようでした。

⑦ 下紺屋町の八幡宮：ケヤキ

・コノハズクが生息しているとのこと。

⑧ 豊染英神社（染屋）：ケヤキ、境内の林

・染屋グリーンベルト地帯の一角です。

⑨ 上田市立図書館駐車場：桑の木

・駐車場の車の重さに圧迫されている。駐車禁止区域拡大による保護が必要です。

■ 6月19日 「浦里とんぼの会」と共に田んぼビオトープの生き物観察会を実施

○ 浦里小学校の児童と共に水生昆虫や放流したメダカの観察を行いました。

タニシの一種、イトミミズ科の生物、ヒル、カイエビ、フタバカゲロウ、イトトンボ科の生物、シオカラトンボ、アキアカネ、アメンボ、コオイムシ、タイコウチ、ミズカマキリ、コミズムシの一種、マツモムシ、ゲンゴロウ、シマゲンゴロウの一種、ミズスマシ、ガムシの一種、ガガンボの一種、ユスリカ亜科の一種、アブの一種、アマガエル、トウキョウダルマガエル、ドジョウなどの生物が確認されました。昨年

秋から今年春にかけて整備された田んぼビオトープの生き物は、徐々に多く確認されるようになると思われます。



市指定天然記念物：ナンジャモンジャの木（塩尻小学校）

誰もが安心して健康に暮らせるまち ～きれいな水の循環を考える～

● 浄水場、下水処理場などの施設見学会に参加し、命の水について考えていきます。

雨水利用など、水の有効利用について検討します。

うえだの景観

■ 6月22日 西部公民館の「歩こう！まゆの里しおじりー蚕種屋（たねや）の面影をたずねてー」で竹内秀夫が案内役を務め、秋和地区の蚕室造りの民家を見て歩いた。この講座は3回連続で、第2回は7月17日に上塩尻地区、第3回は8月28日に下塩尻地区を歩く予定である。なお、次回の上塩尻地区は7月17日（土）9:00に西上田駅集合です。

【上田駅お城口駅前広場清掃作業】 協力をお願い致します

上田駅前お城口市営駐輪場管理棟の倉庫に「うえだ環境市民会議」の道具箱を設置しましたので、市営駐輪場管理者にひと声掛けてから「うえだ環境市民会議」の名札を付けて作業をしてください。作業場所は図面でご確認ください。作業が済みましたら作業シートに作業時間および氏名をご記入ください。必要なものはすべて道具箱に入っています。よろしくお願い致します。

地球SOS

○上田から発信する地球温暖化対策の提案を検討しています。身近で実行できる省エネルギー方法を考え、市民に広げます。循環型社会（ゼロエミッション）の実践を学び拡大を考えます。少雨地帯のため日照時間が多い上田として考えられる自然エネルギー（特に太陽光）について学習し、市民に提案します。森と街に気温測定器を設置して、上田の街のヒートアイランド現象を観察し緑地の効果を考えます。

●7月24日（土）午後1時30分から 地元学のすすめ講座「うえだの底力の発見」に参加します。

内 容：「上田のまちの温暖化を探る！」地球温暖化の講話と測定器によるアスファルトや芝生の温度の測定。染屋の森まで移動します。

講 師：浜田崇さん（長野県環境保全研究所）、染屋の森の会のみなさん

集合場所：中央公民館第1会議室

参加費：150円

問 合 せ：中央公民館 電話 22-0760

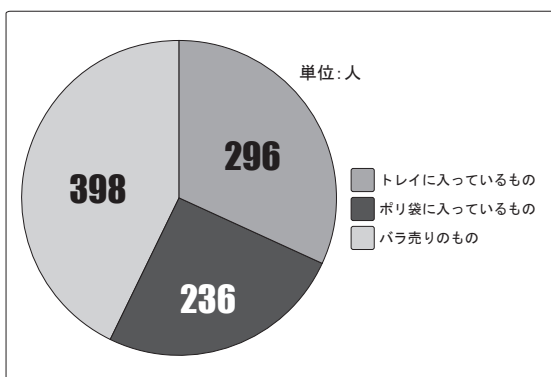
ごみ減 (530)

～資源を有効に利用するまち～

■6月23日 ミーティング開催

○食品トレイ使用品目削減活動に関する消費者アンケート結果や店頭での食品トレイ使用品目調査の結果を検討しました。アンケート調査について、889人のご協力をいただきました。アンケート調査のうち、「あなたは、同じ商品の場合どちらを選ぶことが多いですか」という質問に対しては、回答の約70%が「バラ売りのもの」「ポリ袋に入っているもの」を選ぶという回答でした（グラフ参照。複数回答あり）。食品トレイ使用品目調査の結果、野菜、果物についてのトレイ使用品目は少ないものの、魚肉類、惣菜での食品トレイ使用

889人に訊きました「あなたは、同じ商品の場合どちらを選ぶことが多いですか？」



が多い結果でした。アンケート結果からも、ごみとして処分
に苦慮しているので肉や魚などについてもトレイは必要ない
という意見が多数挙げられていました。今後は事業者と共に
食品トレイを使わない品目の検討を行っていきます。

環境学習

いのち
～命の連環を学ぶ～

■6月5日 環境講演会

「千曲川の河川環境～帰化植物とアレチウリについて～」開催
学生地域暮らし創り考房こみっと との共催

○応用生態学研究所 桜井善雄さんを講師に、写真を見ながら千曲川の特徴、植物の生育地としての川原、千曲川の植物の近年の変化とおもな在来種、帰化植物についてご講演いただきました。千曲川河川敷の植物のほとんどは帰化植物であるとのことですが、裸地に侵入し在来種を駆逐する、植物群落の多様性を損なう、景観を損なう、花粉症などの有害作用、動物の住み場の単純化、耕地の害草になる、河道・水路に増殖し流水障害といったマイナス面がある一方、裸地をいち早く緑化、家畜の飼料（牧草）の供給、新しく美しい景観をつくる、食用野草（山菜）や小鳥のえさの供給、動物の新しい住み場を形成する、草生栽培に役立つ、水際ハビタットを形成するなどプラス面もあるとのことでした。また、マイナス面の多い帰化植物としてアレチウリを挙げられ、全面的な駆除は不可能だが部分的に駆除することで希少な植物を保護していく必要があるとお話いただきました。

●9月3日 フィールドワーク

「無農薬での米作りの現場を見る」開催予定
神畑地区において無農薬の田んぼと化学肥料を使った田んぼの比較をします。六か村堰の見学や、無農薬米の試食なども予定しています。限定20名です。詳細は次回のNewsでお知らせします。

環境ISOネットワーク

■6月21日 地域ぐるみ環境ISO研究会（飯田市）との研修会

○ISO14001 自己適合宣言をする自治体に対する支援方法などについて、先進団体の活動方法などをご指導いただきました。また、企業に対する支援方法などについて意見交換を行いました。

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのワーキングチームにも参加できます。参加ご希望の方は、上田市生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

事務局 上田市生活環境課内：電話 0268-23-5120